

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ
1 産地競争力の強化を目的とする取組用

(都道府県名: 千葉県 令和元年度(西暦2019年度))

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						達成率	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成 26年 (西暦 2014 年))	1年後 (平成 28年 (西暦 2016 年))	2年後 (平成 29年 (西暦 2017 年))	3年後 (平成 30年 (西暦 2018 年))	目標値 (平成 30年 (西暦 2018 年))	計画時 (平成 26年 (西暦 2014 年))					1年後 (平成 28年 (西暦 2016 年))	2年後 (平成 29年 (西暦 2017 年))	3年後 (平成 30年 (西暦 2018 年))	目標値 (平成 30年 (西暦 2018 年))	交付金	都道府 県費				市町 村費	その他						
				(3名/8 名)	(8名/8 名)	(8名/8 名)	(7名/7 名)	(8名/8 名)	(14.5h a/69.8 ha)					(14.5h a/69.8 ha)	(24.6h a/69.8 ha)	(28.4h a/78.4 ha)	(53.0h a/90.0 ha)													
匝瑳市	農事組合法人グリーンファーム椿	土地利用型作物(新規需要米を除く)	事業受益農家の環境保全型農業への取組者数の62.5ポイント増加	37.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	H28年度に全員がエコファーマーの認定を受け、取組みを継続している。	土地利用型作物(新規需要米)	受益地の新規需要米が占める面積割合を38.1ポイント増加	20.7%	20.7%	35.2%	36.2%	58.8%	41%	新規需要米の作付面積が13.9ha増加し、面積割合は15.5ポイント増加した。	126,596,620	38,539,000	0	0	88,057,620	2017/3/31	目標年度として、新規需要米の面積拡大に取組んだが、実績は微増であり目標達成には至らなかった。早期の目標達成に向け、農地中間管理事業を活用した規模拡大と作付構成の見直しを図るなど早急な対策に取組んでいく。	目標メニュー①の環境保全型農業への取組に係る成果目標は達成した。他方、目標メニュー②に関しては、新規需要米の作付面積・面積割合ともに増加するなど一定の成果は得られたが、達成率は41%であり目標達成には至らなかった。今後、農地中間管理事業等を活用した約14haの規模拡大が見込まれており、早期達成に向けた一層の改善指導を実施する。			
市原市	市原市農業協同組合	産地収益力の強化に向けた総合的推進 野菜(だいこん)	当該品目のA品出荷率向上	61.40%	53.80%	52.80%	57.00%	77.20%	-28%	台風による生育被害(塩害)により大根の生育が一部不良だったため、出荷量が減少し、A品出荷率も計画時より4.4%減少した。	野菜(だいこん)	当該品目の全出荷量に占めるブランド野菜(ちばエコ農産物の認定)の割合の増加	33.40%	38.00%	40.38%	51.60%	58.70%	72%	ちばエコ農産物認定をうけた面積は99.1haであり、出荷量に換算して703,150ケースであり、約18%増加した。	耕種作物共同利用施設整備(集出荷貯蔵施設) ・荷受洗浄設備1台 ・箱詰包装設備1式 ・製品搬送設備1式 ・製函配函設備1式 ・附帯設備 ・残渣処理施設	85,104,000	39,346,000	0	0	45,758,000	2016/10/31	A品率向上については、出荷量は増加したが、気象変動(台風、低温)により生育にバラツキがみられたこと、A品率が目標ほど向上しなかった。気象変動については、逐次作付け方法等の改善による対応を検討していく。ブランド野菜の割合の増加については計画時よりは増加したものの、価格に反映されにくいことから思ったほど作付けが増えず目標達成できなかった。ブランドPRによる付加価値化が価格に反映されにくかったため、作付けが目標ほど増えなかった。今後もPRなどによる付加価値化を図り割合を増加させていく。また、施設を改修して処理能力が向上したことにより出荷量の増加が今後も見込まれるため、引き続き関係機関で指導、助言等を行いたい。	A品率向上については、出荷量は増加したものの、台風や低温の影響により品質が予想外に低下したため目標達成できなかった。天候に生育を左右されにくい作付けの方法について検討していく。ブランド野菜の割合の増加については計画時よりは増加したものの、価格に反映されにくいことから思ったほど作付けが増えず目標達成できなかった。ブランドPRによる付加価値化を今後とも図り、作付け拡大により出荷量の増加が今後も見込まれるため、引き続き関係機関で指導、助言等を行いたい。		

都道府県平均達成率	46.3%	総合所見	県平均の達成率は46.3%と目標値未達成であった。これは匝瑳市の新規需要米の面積割合及び市原市のA品出荷率向上が目標通り進んでいないことによる。今後の成果目標の達成に向け、関係機関が連携して改善指導を実施していく。
-----------	-------	------	---